



安慶名地区

うるま市 公共団体施行



令和2年2月撮影

施行者	うるま市
施行面積	16.2ha
都市計画決定	平成14年2月15日
事業計画	平成15年6月25日
施行期間	平成15年度～令和6年度
補助期間	平成13年度～令和5年度
総事業費	14,622,000千円
沖縄振興公共投資交付金	10,624,885千円
社会資本整備総合交付金	822,171千円
計画人口	1,600人
減歩率	合算 30.76%
公共用地率	従後 44.46%
建物移転数	350戸

〈公共施設の整備〉

都市計画道路	13路線	幅員	8m～26.5m
		延長	3,499m
区画道路		幅員	6m
		延長	581m
特殊道路		幅員	4m～6m
		延長	354m
公園	4箇所		4,495㎡

〈他関連事業〉

安慶名地区住宅地区改良事業、公共下水道事業
 安慶名地区住宅市街地総合整備事業
 安慶名まちづくり交付金事業等
 ※事業計画(第10回変更)令和4年7月決定による
 ※各交付金は国費額

安慶名地区は、米軍により土地、家屋を強制的に接収され、行き場を失った人々が住みつき、無秩序に市街地が形成されてきた面積16.2haの地区です。

本地区は、これまで市の中心市街地として発展してきましたが、地区内は道路が狭く不整形で、家屋は老朽化が目立つなど防災上危険な状況にあり、新市街地(みどり町)の形成とともに商業機能の停滞・空洞化が進んでいたことから、公共施設を適正に配置し、住環境を整備するとともに商業の活性化を一体的に実施する等、都市再生が急務となっていました。そのため、面的整備事業の導入にむけて調査・検討を行い、都市基盤の整備と良好な住宅地の整備を推進するため、中心市街地活性化基本計画において重点区域として位置付けるとともに、平成14年には都市計画を決定しました。

また、住宅地区改良事業との合併施行により都市基盤や住宅地の整備改善を行い、魅力ある商店街を形成し、うるま市の新しいまちの顔にふさわしい中心市街地の形成を図っています。更に、主要地方道沖縄石川線(県道75号線)を都市軸として拡幅整備し、安全でゆとりある歩行者空間の確保を図りながら、まち全体のユニバーサルデザインや中核施設の建設についても計画しており、総合的な地域活性化と人にやさしいまちづくりを目指しています。



うるま市地域交流センター



県道 75 号線沖縄石川線



安慶名 3 区線 (ラウンドアバウト)



住宅地区改良事業 (安慶名団地)

土地区画整理事業設計図及び地区内現況写真